

政治史 I

科目ナンバリング POL-103
選択 2単位

日暮 吉延

1. 授業の概要(ねらい)

この講義の目的は、戦後日本の政治史についての詳細な検討を通じて、国家の行動、政治家・官僚の意思決定、権力闘争などをリアルに理解することです。主要な検討対象は戦後日本政治史ですが、現代国家の内政と外交は密接に連動しているので、国際環境、諸外国との関係についても検討します。

なお戦前期日本の外交を学ぶ日暮担当の「外交史」は、この講義と密接な関係にあります。

2. 授業の到達目標

- 1) 政治史に関する基礎的な知識を修得し、政治外交の仕組みを他者に説明できる。
- 2) 「政治」の具体的なあり方、日本社会の特質を理解できる。
- 3) 内政と外交がいかに関連しているかを具体的ケースに即して理解できる。
- 4) 戦後日本の政治過程の分析を通じて、現在の日本の位置について理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

試験の成績(90%)、ディスカッション・ペーパー、授業への貢献度(10%)等を評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定の教科書は使用せず、授業中に参考資料を配付します。

参考文献

福永文夫 『日本占領』 中公新書
北岡伸一 『自民党』 中公文庫
日暮吉延 『東京裁判』 講談社現代新書

5. 準備学修の内容

毎回、自分でとったノートをなるべく当日中に一度、読み返すこと。疑問に思った部分があれば、事典等で調べたり、文章の修正をしたりすること。この簡単な作業をするだけでも学習成果は相当に上がるはずです。

6. その他履修上の注意事項

・日暮が担当する「外交史」「国際関係論」の履修が望まれます。
・充実したノートを自分自身で作成することが重要です。その理由は二つ。(1) 講義を聴いて「ここは重要だ」と自分が判断した部分を迅速にメモする(ノートをとる)ことは、社会に出てから必要となる「問題のポイントをつかむ力」「判断力」をつける訓練になります。(2) 人間は残念ながら物事をどうしても忘れてしまうので、覚えておくためにメモ(覚え書き、備忘録)をとることが必要です。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 占領とは何か
- 【第3回】 占領に対する日本人の対応
- 【第4回】 皇族内閣と占領
- 【第5回】 非軍事化政策の展開(1)
- 【第6回】 非軍事化政策の展開(2)
- 【第7回】 戦争責任問題
- 【第8回】 戦後政党の成立
- 【第9回】 吉田茂の思想と政策
- 【第10回】 民主化政策の展開(1)
- 【第11回】 民主化政策の展開(2)
- 【第12回】 民主化政策の展開(3)
(前後の時期、オンライン授業公開)
- 【第13回】 中道連立政権
- 【第14回】 試験、および議論のフィードバック(授業内での解説)
- 【第15回】 オンライン授業: 非軍事化と民主化(第12回授業と同時期に公開)